
看護方法論Ⅱ（看護過程）

岩 根 直 美 准教授
坂 本 由希子 准教授
大 西 修 平 助教
野々口 陽 子 助教
米 島 望 助教

2 年次前期・必修

2 単位・60 時間

【概要・目標】

対象の看護上の問題を査定し、問題を解決していく方法論の一つである看護過程について学ぶ。看護過程の展開に必要な基礎的な理論を学び、さらに、さまざまな事例を用いて演習を行い、問題解決への方法と実践力を養う。

- 1) 看護過程の構成要素およびそれぞれの要素についての理解ができる。
- 2) 看護過程で活用されている理論についての理解ができる。
- 3) 看護過程の理論を活かして事例を展開することができる。
- 4) 臨床でよくみられる看護問題を理解し、それらに対する具体的な解決方法を習得することができる。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 看護過程の概要と構成要素
- 2)～5) アセスメント・看護問題の明確化
- 6)～7) 全体像、看護診断
- 8)～9) 看護計画の立案
- 10)～11) 実施と評価、看護記録
- 12)～15) 紙上事例の展開メント
- 16)～30) 看護問題と解決方法
(発熱、便秘・下痢、呼吸困難、褥瘡、嚥下障害等の症状を有する患者の看護、
および褥法、吸入、吸引、包帯法等の演習)

【評価】

筆記試験（70%）、提出物（20%）、出席状況および授業への参加状況（10%）

【教科書】

深井喜代子編 「新体系看護学全書 専門分野Ⅰ基礎看護学 基礎看護技術1」メヂカルフレンド社
矢田昭子・秦美恵子編 「基準看護計画 第3版」照林社
高木永子 編 「看護過程に沿った対症看護 第5版」学研

【推薦参考図書】

T.ヘザー・ハードマン編 「NANDA-1 看護診断 定義と分類 2018-2020 原書11版」
医学書院

【その他】

学習サポート

実習室において、自己学習と技術指導を受けることができます。（曜日などの詳細は別途）